

# みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄



地域の皆さまと  
共に歩みます

発行者 高橋みなお事務所  
高崎市東貝沢町2-32-6  
電話 027-363-2733

## 地域力の結束を次世代につなげよう！

昨年夏の歴史的な政権交代後、初めて全国の民意を問う参議院選挙が行われ、衆参各院で多数派が異なるねじれ国会となり、政権運営が厳しくなることが予想されます。

昨年衆議院選挙で提示したマニフェストは実現されているのか、今後

も継続してほしい政策は何か、有権者の切迫した危機感が象徴された選挙であったと言えるでしょう。一人ひとりが政策を吟味し、大いに悩み、熟考・選択した結果と重く受け止めたいと思います。

地方自治体を取り巻く環境も大きく変化している中、個性豊かで魅力あるまちづくりを実現するためには、計画段階から地域住民が参加する事業の進め方が求められています。

まちづくりを円滑に進めるには、地域の特性や対象となる事業の内容に応じた住民参加を進め、情報を提供していく必要があるのではないのでしょうか。地方においても住民ニーズを的確に捉え、地域の行政需要に適切な対

応ができるような行財政改革を行い、均衡ある発展を目指さなくてはなりません。それぞれがしっかりと役割を果たし、まちづくりを人づくりにつなげ、地域の力が将来に夢と希望、情熱を持つ若い世代に引き継げるよう期待したいものです。

さて、本市においては、平成二十三年四月の中核市移行に対して県議会の議決を経て、知事から同意書が交付され、円滑な移行に向けた最終段階に入りました。

また、私も、五月十四日に開かれた臨時議会において、議会選出の高崎市監査委員に全会一致で選任同意されました。今後、地方公共団体の財務管理や行政運営について緊張感を持って監査し、役目を果たしていかねばならないと決意しております。



### 暑中お見舞い申し上げます

暑さもきびしさを増しております

炎暑の折、くれぐれもご自愛

くださいますように

平成二十二年盛夏

高橋みなお



「群馬デステイネーションキャンペーン(DC)」まで一年となった今月、群馬県・高崎市・JR東日本高崎支社は、高崎駅中央改札口正面に総合案内所(ビジターセンター)をオープンしました。



高崎駅に総合案内所オープン

県・市の各観光案内所と駅インフォメーションセンターの三施設を統合し、質の高い案内サービスの提供を目指します。政府の新成長戦略でも「観光立国」は目標の一つであり、地方の潜在力を生かすために

は観光基盤整備も必要です。これからは各地域の魅力を再発見し、伝統を守りつつ特色ある景観づくりへの努力が求められるでしょう。来年の群馬DCがそのきっかけになってほしいものです。



### 六月定例議会報告

平成二十二年第三回市議会定例会は、六月十日から二十五日までの十六日間の会期で開かれました。

本定例会では、高崎市子ども基金条例の制定について、ハーモニー高崎ケアセンター設置及び管理に関する条例の制定についてなどの審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問は、四日間行われ、高橋みなお議員は一日目に登壇し、質問を行いました。以下概要を報告します。

#### 学習指導要領改訂に伴う対応 東部小学校の教室不足解消へ！

質問 今回の学習指導要領改訂の基本的な考え方では、社会や環境の変化に柔軟に対応できる「生きる力」を育むという理念が重要である。全面実施が直前に迫っているが、本市としてはどのように受け止め対応していくのか。

質問 算数・数学及び理科では昨年度から新学習指導要領の内容を先行実施している。また、小学校外国語活動については教員の不安や負担を懸念する声も聞くが、市内全児童・生徒が平等な教育内容で授業が受けられるような配慮をしているのか。

質問 市全体では学校区の見直しを含めた対応も視野に入れる必要があるが、東部小学校については、さらなる特別教室の活用は困難であり、措置として仮設プレハブリースによる増設で対応したいと考えている。

質問 教育環境の整備には、教職員と保護者・地域の方々の連携が不可欠と認識している。教育の主役である子どもたちのための施設整備を経費と捉え、教育行政を推進してほしいと考えるが。



教室不足解消が期待される東部小学校

### 後記

地球温暖化の影響が、厳しい暑さが続きますが、いかががお過ごしでしょうか。さて、参議院選挙前日の七月十日全国高校野球選手権群馬大会が開幕しました。今年も審判員として参加し、夢と希望そして熱い感動を与えてもらい、彼らと同じストーリーに立つことができたことに感謝しております。日頃から子どもたちには、「最後まであきらめず、はいけない」「自分の目標をやり遂げることで大きな喜びをつかもう」と伝えてきたつもりですが、最近の社会情勢や大人たちの発言を彼らがどのように受け止めているのかと考えた時、不安を感じるのは私だけではないでしょう。

厳しい練習に耐え、努力を重ね、仲間と共に勝ち得た感動は、必ず選手たちの将来に栄冠を与えてくれると信じています。

## ぐるりんバスを利用しましょう！

ぐるりんバスは、収支の損失部分を市がバス事業者に補助する形で運行しており、年間約三億五千万円という財政負担をしています。

高齢化社会や低成長社会の構築といった社会要請にもこたえながら、利便性を高めることで利用者が増えるよう期待したいものです。皆さんも地域の足となるぐるりんバスに乗ってみませんか！

**市政相談連絡先**

☎370-0041

高崎市東貝沢町二丁目32-6

TEL&FAX:027-363-2733

E-mail:minao.t@jcom.home.ne.jp